

釧路工業技術センター NEWS

2022 VOL.40

発行

公益財団法人 釧路根室圏産業技術振興センター

〒084-0905 釧路市鳥取南7丁目2番23号 TEL:0154-55-5121・FAX:0154-55-5161
URL:https://www.senkon-itc.jp/

令和4年8月発行



HP



Facebook



生産性向上ワークショップ



くしろ木づなプロジェクト



産技連より感謝状授与



溶接研修会

CONTENTS

■ 特集企画

- P2・・・技術力生産性向上マネジメント事業終了報告
- P3・・・令和3年度くしろの地域資源を活用した木製品開発業務委託

■ 地域の元気な企業紹介

- P4・・・一般社団法人パイングレース
日の出工藝株式会社

■ 情報エントランス

- P5・・・産業技術連携推進会議より感謝状授与
地域DX促進活動支援事業「北海道DX推進協働体」が発足
会議室等の貸出について
INPIT北海道知財総合支援窓口釧路サテライトについて

- P6・・・「R3年度 中小製造業IoTスモールスタートモデル形成事業」成果のご紹介
令和3年度センター主催の講習会

- 内島特許商標事務所による知的財産権個別相談会のお知らせ
- P7・・・釧路地域工業振興協会勉強会の開催報告
釧路工業技術センター 成果報告会開催
北海道発明協会による知的財産権出張相談会のお知らせ

■ その他

- P8・・・専務理事就任ご挨拶
令和3年度相談受付・利用状況

特集企画

【北海道補助、釧路市委託】

先端技術の導入支援等による地域企業生産性向上事業

技術力生産性向上マネージメント事業終了報告

当地域では様々な分野において人手不足が深刻化しており、当センターでは、機械化、自動化等、生産性向上技術の導入へ繋がる取り組みへのサポートを実施しております。本事業による活動はR3年度で終了しましたので、これまでに技術力生産性向上マネージャー5名が行ってきた生産性向上のための人材育成事業、技術開発実践プロジェクト等の活動について報告します。

○企業のニーズ、課題の把握・相談対応等

企業等訪問件数(延べ398件/3年)、技術相談件数(延べ365件/3年)

○生産性向上のための人材育成事業

・『生産管理自己診断システム』を活用した生産性向上のためのワークショップを開催

R1、R2年度と生産性向上ワークショップを開催しました。生産性向上の第一歩として現状把握が必須であり、北海道が開発した『生産管理自己診断システム』を活用した自社内での自己診断と現場改善に取り組むワークショップを実施しました。2年間でものづくり系6社11名、食品系5社9名、合計11社20名に参加頂きました。R2年度には大地みらい信金様と連携して釧路に加え中標津でも開催し、根室市、羅臼町の企業にも参加頂くことができました。



生産性向上ワークショップの様子

・その他の人材育成事業

ワークショップ参加企業を中心にフォローアップとして、企業ニーズにカスタマイズした内容で『個別企業向け現場改善研修』や札幌で人気の高い、自社工程の改善について異業種、同業他社とグループ討議を行って進めていく『工程管理入門研修』を実施しました。

○専門家派遣

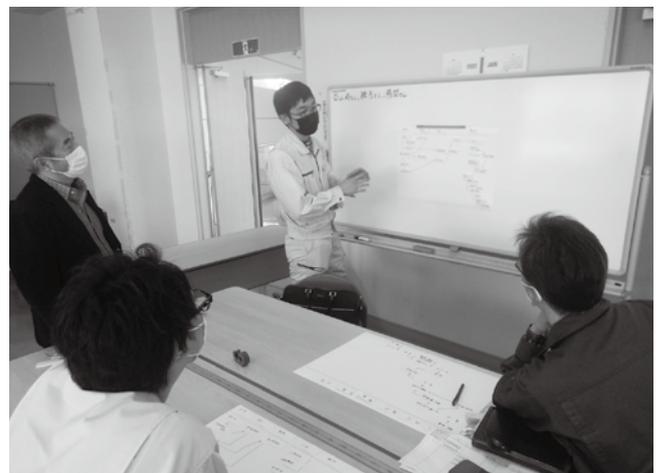
個別相談対応、研修会講師として3年間で8件延べ32名の専門家を派遣しました。

○技術開発実践プロジェクト

3年間でものづくり、水産関連、食品関連、農業関連の現場改善や技術開発等8テーマについて継続的に支援を実施しました。

○R4年度からも新たな事業で、引き続き、『あなたの会社の生産性向上を応援します!』

R4年度からは、後継事業として『地域企業の先端技術人材確保・育成等支援事業【北海道補助、釧路市委託】』を実施しています。これまでの生産性向上の取り組みへの支援を継続し、IoT、ロボティクス等の先端技術を有する人材の育成等に取り組めます。まずは皆さまの生産性向上に関する要望を伺い、地域のニーズ、各企業様のニーズにあった取組みを進めてまいります。



『工程管理入門研修』の様子

特集企画

くしろ木づなプロジェクト

令和3年度くしろの地域資源を活用した木製品開発業務委託

くしろ木づなプロジェクトの取り組みの一環として、地元企業の若手による商品開発の検討を行いました。円卓会議関係企業と市内企業の若手が中心となり、主に釧路のカラマツを使った商品開発の検討を行いました。参加メンバーがそれぞれアイデアを出し、普段の仕事や得意分野から役割分担をして試作し、遊具やアウトドア関係、小物、家具類など18アイテムの開発を行いました。試作品はイベント（札幌）で展示してアンケート調査を行いました。

成果としては、「カンナスピーカー」「ソロキャンプテーブル」「木づなえんぴつ」「パーティション」「アルファベット」が商品化され、ノベルティとして開発した小物や遊具は、イベントで使用したいという要望があり、貸し出し・販売に繋がりました。

今後も継続して検討会議・商品開発を行い、釧路内外のイベントに出展し商品と取り組みのPRを行う予定です。

【体制】

丸善木材(株)、得地ファニチャ工業(株)、玉垣木工(株)、(株)長谷川建築設計事務所、(有)熊の家藤戸、まちまちえんぴつ、釧路森林資源活用円卓会議

※「くしろ木づなプロジェクト」とは

平成22年に釧路市有林をはじめとした釧路市内の森林資源の活用策を検討することを目的に「釧路森林資源活用円卓会議」が設置され、そこで検討されたことを具体的な形にする取り組みです。



会議風景



展示風景



木づなえんぴつ



カラマツ椅子



パーティション

地域の元気な企業紹介

一般社団法人パイングレース

〒088-3221 川上郡弟子屈町字鑑別原野 41 線 32-5
URL : <https://pinegrace2017.wixsite.com/akaezo>

北海道の3大針葉樹の1つであるアカエゾマツの枝葉から精油を抽出しています。その優れた抗菌性はウシの皮膚病の改善や、ペット用ブラッシングスプレーとして活用されています。弟子屈町の蒸留所で水蒸気蒸留法による精油抽出を行い、更に近隣の障害者就労支援施設にも蒸留作業を委託しています。

原材料となるアカエゾマツ枝葉は主に阿寒の前田一步園財団より無償提供されており、2019年アカエゾマツ枝葉の活用に関する覚書を締結しています。林業の現場では山林に放置されている枝葉を原材料として活用することで、新しい価値の創造につながり、昨年「STI for SDG's」アワードの優秀賞を受賞しました。また阿寒の森では、大自然の中で本来の自分を取り戻すリトリートも定期開催しています。

蒸留作業を福祉施設に委託することで、林業と福祉の連携が実現し、これにより環境省グッドライフアワード実行委員会特別賞「環境と福祉賞」を受賞しました。最近は蒸留作業そのものへの関心



弟子屈蒸留所

も高まり、標茶高校、弟子屈高校からも蒸留体験に来ています。

2017年の法人設立から5年が経過し、精油以外にも、蒸留水や蒸留残液、残渣の活用も進んでいます。それを可能にしているのは大学での研究です。弊社の代表横田博は酪農学園大学名誉教授であり、現在も大学内で数名の先生達と研究を続けています。更に大学間での連携も広がりをみせています。

今後は自然の恵みである植物の力を人の医療にも活用することを目標として、人と動物と地球環境に貢献する企業を目指し活動していきます。



弊社の代表商品
(左:動物用ワセリン、
右:スキンプロテクトスプレー)

日の出工芸株式会社

〒084-0905 釧路市鳥取南8丁目14-8
TEL 0154-51-1616 URL : <https://www.hinode-gr.jp>

当社は昭和37年に看板業として創業しました。釧路から「ものづくり」で発信することをベースに、時代のニーズに合わせて業態も変化させ、現在では5台のNCルータによる内装デザインパネル等の製造を営業・設計から一貫して自社工場で行なっています。

このたび当社は新たに3種類の3Dプリンターを導入しました。一度に高さ1800mmまで出力可能な大型プリンター、色鮮やかな表現が可能なフルカラープリンター、卓上サイズのフィラメント式のプリンターです。削りだしでは表現できなかったものや、少量で生産が現実的ではなかったものの生産がこれで可能になりました。

大型プリンターは、ノズルから出る半固形のジェルをUVライトで照射することにより硬化する仕組みです。輪郭を出力し「中空状態」となるので、より早く完成まで近づくことができます。仕上げは下地を整えれば塗装も可能です。

フルカラープリンターは写真をそのまま立体化したような高精度な色の特徴です。インクジェット方式で中身が詰まった状態で出力されるため、サポート材を落とし、物の中に物が入っているような3Dプリンターならではの

のデザインも対応できます。

モデリングツールや3Dスキャナーと併用することで、プリンターだけでなく既存製品の内装パネル「DimpleShade」と組み合わせ、当社の得意とする3D加工をより幅広くご提案できるようになりました。公共空間に置かれるオブジェの製造など3D技術を通して、当社は美しい空間創造を共創していきます。



大型
3Dプリンター



フルカラー
3Dプリンター



造形サンプル①



造形サンプル②



造形サンプル③

情報エントランス

産業技術連携推進会議より感謝状授与

当センターは、今年2月に産業技術連携推進会議（産技連）より感謝状を授与されました。これは、当センターがJICA 事業を通してベトナム国で行った鮮度評価技術の普及活動等が『鮮魚の価値向上に貢献する鮮度測定法の標準化活動および魚の鮮度評価技術の普及活動』の一部を担ったものと評価され、産技連での連携活動への尽力、地域の産業支援への貢献に対して感謝状が授与されたものです。感謝状の授与は今年3月に当センターで行われました。産総研北海道センター扇谷所長（当時）に来訪頂き、荒井専務理事（当時）に直接授与して頂きました。



感謝状授与式の様子

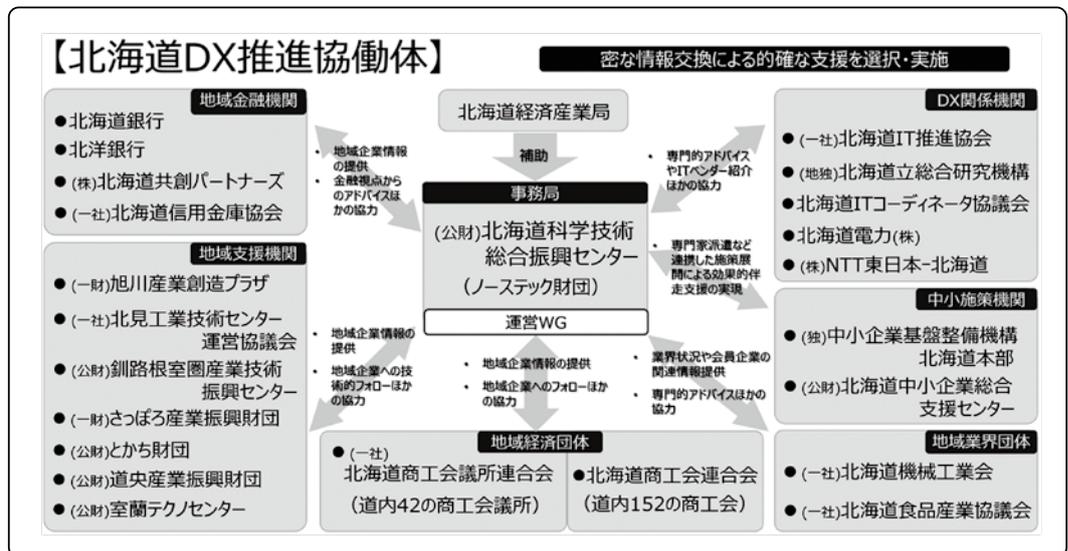
※産技連とは、公設の試験研究機関等（公設試）相互、および、公設試と国立研究開発法人産業技術総合研究所との連携を通して、我が国の産業の発展に貢献することを目的とする組織です。

地域DX促進活動支援事業『北海道DX推進協働体』が発足

当センターでは、6月27日発足した『北海道DX推進協働体』に参画し、地域企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進へのサポートを強化することとなりました。

この『北海道DX推進協働体』は、北海道経済産業局と公益財団法人北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）で、北海道におけるDXを推進する組織として、全道24の支援機関が参画して立ち上げられたものです。

当センターは地域支援機関として参画し、地域企業のDXに関する取り組みなどの情報の提供、地域企業への技術的フォロー等の協力をを行うとともに当センター独自の支援策と連携して企業のDX推進をサポートしていきます。



北海道DX推進協働体：参画機関24機関

会議室等の貸出について

釧路工業技術センターでは、数名～120名位までご利用可能な会議室やパソコンが備えつけられている部屋の貸出を行っています。会議室の広さ、備品、ご利用用途によって金額が異なりますので、**ホームページ** (<https://www.senkon-itc.jp>) での確認、または、**電話** (0154-55-5121) にてお気軽に問合せ下さい。

=INPIT 北海道知財総合支援窓口 =

釧路サテライトについて

無料

北海道知財総合支援窓口釧路サテライトが当センターに併設されています。本サテライトでは、札幌にいる相談員がテレビ会議システムを通じて知的財産に関するご相談に無料で応じますので、是非、ご活用下さい。

TEL:0154-55-5121 E-mail:chizai@jiii-h.jp
<https://chizai-portal.inpit.go.jp/madoguchi/hokkaido/>

「R3年度中小製造業IoTスモールスタートモデル形成事業」成果のご紹介

釧路ITクラスター推進協会の事業である「中小製造業IoTスモールスタートモデル形成事業補助金」を実施するにあたり、当センターでは協力体制をとり、事業周知から事業者へのヒアリングや技術支援などを行いました。

本補助金は、釧路市内の中小製造業者を対象に、IoTシステムを導入することによって、課題解決による業務改善、生産性向上・競争力強化を図る取組を支援する事業となっており、60万円を上限に4分の3以内を補助するものです。

事業名	無線LAN環境の構築による製麹工程の品温記録とデータ分析	IoT加工終了通報装置によるデジタル管理の実現・生産性向上	食品製造場向けHACCP運用支援システムの導入と業務効率化
事業者	福司酒造株式会社	日の出工芸株式会社	株式会社くし畑あぶり家
内容	温度センサーを加工してロガーをWi-Fiに接続、麹造りや醸造時の温度データを取得し、クラウドでデータ蓄積を実施。  センサー設置状況	切削加工の終了情報をLINEに発信。また、カメラを設置して稼働状況をモニタリング・記録し誤作動等の確認。  センサー設置状況	冷蔵庫・冷凍庫にIoTセンサーを設置して、庫内温湿度のリアルタイム取得を実施。  センサー設置状況

令和4年度も同様な事業を実施します。業種制限を設けず、釧路市内の中小企業であれば応募可能となります。

詳しくは釧路ITクラスター推進協会のHP (<https://www.ksr-it.net/>) をご覧ください。



令和3年度センター主催の講習会

テーマ名	開催日	参加人数	内容
3DCAD講習会	R3.12.7~8	6名	3DCADシステムの導入を検討、及び、習得したい企業の要望により、3DCADシステムの操作方法から3Dモデリング手法、アセンブリデータの作成方法等について、講習会を開催した。 ※使用3DCADシステム：IRONCAD
DX時代のSNS活用セミナー	R4.3.23	12名	特に営業面にソーシャルメディアを取り入れた展開に向け、インターネットマーケティングの概念を理解し、ソーシャルメディアとのつながり、活用などを理解することを目的にセミナーを開催した。
溶接研修会	R4.3.23~24	6名	各技術者の希望する内容に合わせた溶接研修会を実施した。JIS検定課題の練習、TIG溶接の練習などの要望がありこれに対応した実習を行った。



3DCAD 講習会



DX時代のSNS活用セミナー



溶接研修会

内島特許商標事務所による知的財産権個別相談会のお知らせ

当センターでは、今年度も知的財産権個別相談会を開催しています。専門家は、昨年と同じく、内島特許商標事務所代表内島裕弁理士です。相談会は全6回を予定しており、既に前半の3回は終了してしまいましたが、10月14日(金)、11月11日(金)、12月16日(金)の日程で開催する予定です。相談は無料です。専門家に直接相談できる大変貴重な場ですので、特許権や商標権、著作権など、知的財産権に関するお困りごとがございましたら、当センター(0154-55-5121 担当：藤井)までご連絡ください。

釧路地域工業振興協会勉強会の開催報告

令和4年3月14日に当センター会議室にて、釧路地域工業振興協会が「次世代を担う後継者育成のための勉強会」を開催しました。本勉強会は、企業が知識や技術を習得し、地場産業や後継者の育成に貢献することを目的とし、毎年行われています。今回は、戦略経営ネットワーク協同組合の赤羽幸雄代表理事にお願いし、「事業継続力強化セミナー～災害・感染症に強いものづくり企業になるために～」というテーマでご講演いただきました。会場参加とオンライン参加で併せて32名の方々に参加していただき、BCP（事業継続計画）の必要性などについて学ぶことができました。



勉強会の様子

釧路工業技術センター 成果報告会開催

当センターの事業化支援等の取り組みや事業成果を広く普及することや地域の皆様に一層のご理解をいただくことを目的に、令和3年度事業概要と各技術職員が取り組んできた4テーマについての成果報告会を、7月8日（金）に開催いたしました。

新型コロナウイルス感染症が収束しつつあることもあり、久しぶりに対面で行いたいとの希望から会場での開催となりましたが、29名の方に参加いただきました。

改めてご参加いただきました皆様にお礼申し上げますとともに、本事例報告が地域産業の活性化の一助となります様、引き続き活動してまいります。本報告会の発表テーマは次の通りです。



成果報告会 会場の様子

- ①「加工・生産システム分野の取り組み紹介」
発表者：日戸 光輝
- ②「魚の高鮮度保持のための器具開発支援の取り組み紹介」
発表者：藤井 優
- ③「化学分野の取り組み紹介」
発表者：廣澤 瑞保
- ④「新たな地域材活用の取り組み紹介」
発表者：瀧本 文一

北海道発明協会による知的財産権出張相談会のお知らせ

INPIT北海道知財総合支援窓口は、中小企業等の知的財産に関する課題をワンストップで解決するための相談窓口として、平成23年、札幌に開設されました。それに先駆け、平成20～21年に札幌の相談員とテレビ会議システムを通じて無料で相談できる「サテライト」を、道内8地域10箇所（釧路、帯広、北見、函館、旭川、苫小牧、室蘭、札幌）の支援機関に開設しております。

釧路地域では、釧路工業技術センターと連携し、同センターにサテライト窓口を開設しておりますが、ご利用される皆様と当窓口の相談員が直接相談できる機会を設け、より緊密に相談できる窓口として、この度、同センター内で「知的財産権出張相談会」を開催することとなりました。

知的財産に関する問題でお悩みの方は、この機会に是非ご利用ください。

窓口担当者が無料でご相談に応じます。

- ◆知的財産権出張相談会の開催日（いずれも13時から）
- | | |
|-------------|-------------|
| 5月10日（火）※終了 | 7月19日（火）※終了 |
| 9月20日（火） | 11月22日（火） |
| 1月17日（火） | 3月14日（火） |

【お申し込み先】

E-mail：chizai@jiii-h.jp
TEL：0154-55-5121（担当：藤井）

【お問い合わせ先】

一般社団法人北海道発明協会
〒060-0807
札幌市北区北7条西4丁目1-2
KDX 札幌ビル5階
E-mail：chizai@jiii-h.jp
TEL：011-747-8256
FAX：011-747-8253
URL：https://chizai-portal.inpit.go.jp/madoguchi/hokkaido/



就任ご挨拶

専務理事 草 苺 敏 夫

4月1日より公益財団法人釧路根室圏産業技術振興センター専務理事（釧路工業技術センター長）に就任いたしました。

私は道産子ですが、昭和61年（1986年）に釧路工業高等専門学校建築学科に採用となり、初めて釧路の地を踏みました。当時の釧路はバブル景気と重なり、地場産業である水産・製紙・鋳工業ともに活況に満ちており、様々な施設も建てられました。以来、本年3月末まで勤務しておりましたが、釧路がどんどん寂しくなっていくことを肌で感じておりました。

この度、まったく異なる分野に足を踏み入れることとなりましたが、これまでの建築関係学会や防災関係学会の活動で培った知己やネットワーク、公的社会活動で得た経験を活かし、釧路根室圏における新たな産業の創出や産業技術の向上ならびに地域産業の振興による地域経済発展に努力を重ねてまいります。

当センターですが、開設以来20年目を迎えます。ここまで継続できたのも、釧路根室地域の産業界、学界、行政、金融の関係機関が連携し、ご支援やご協力をいただいた賜物と感謝申し上げます。

センター長は私で5代目になりますが、荒井前専務理事を始め、4代に渡る歴代のセンター長と職員各位の努力により、多くの成果を生み順調に運営がなされているとの評価をいただいております。

しかしながら、日本を取り巻く世界情勢や国内情勢は20年前と大きく異なり、地場産業の衰退とそれに伴う人口流出、加速度的な高齢化の進展と慢性的な労働力不足は、「も

のづくり」を支える資源と「まち」の活力をどんどん削ぎ取っております。

特に高齢化に伴う今後の人口減少は、北海道は全国よりも10年早く到来し、釧路根室圏では人の住まない地域（非居住地）が道内の中でも顕著に拡大するなど、全国に先駆けた課題解決先進地域となるのが想定されております。

このように将来的な社会構造や産業構造の変化が予想される中、「ものづくり」の世界も大きく変化しようとしております。

当センターでは今後予想される解決すべき多くの課題に対して真摯に向き合い、企業の皆さまや関係機関と協力しながら「ものづくり」を通じて持続可能な地域社会の構築ならびに産業の発展と振興に貢献するために職員一同尽力する所存であります。

今後とも一層のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。



草苺専務理事デスクにて撮影

令和3年度相談受付・利用状況（令和3年4月～令和4年3月）

地域別相談状況

[単位：件]

	釧路市	釧路町	厚岸町	浜中町	標茶町	弟子屈町	鶴居村	白糖町	根室市	別海町	中標津町	標津町	羅臼町	その他	合計
相談件数	819	61	38	46	4	17	13	23	12	8	54	12	5	57	1169

相談内訳

[単位：件]

区分	新規	継続													合計
	479	690													1169
方法	来所	往訪	その他												合計
	503	329	337												1169
目的	受発注関係	技術関係	経営関係	創業関係	企業訪問	その他									合計
	66	978	12	5	5	103									1169
業種	製造	建設	卸売・小売	サービス	木製品	農林水産	情報通信機器	学術研究	行政	その他					合計
	439	21	70	169	144	34	59	32	105	96					1169
技術分野	機械金属	木工	情報通信	電気電子	化学	塗装	エネルギー	食品	CAD/CAM	その他					合計
	361	247	83	12	86	0	23	48	72	237					1169
産業分野	環境エネ	建設	農業	水産	食品	福祉	林業	情報通信業	学術・技術業	その他					合計
	38	121	81	218	66	0	33	69	7	536					1169

釧路工業技術センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
機器利用	件 33	57	61	57	42	42	45	41	34	44	48	55	559
依頼試験	件 0	30	42	3	33	55	28	45	67	0	6	12	321
会議室	件 49	12	25	23	27	33	36	32	18	20	21	41	337
	人 649	119	252	235	300	333	509	537	118	207	143	429	3,831